

6月  
定例会

令和3年度補正予算（総額33億994万7千円）を可決

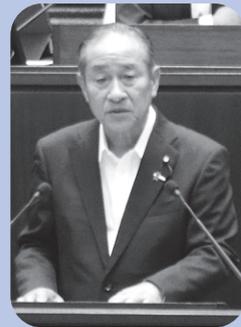
令和3年第4回6月定例会は、6月1日から6月22日まで開催され、議案15件及び報告10件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、議員15人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に4ページから9ページに掲載しています。



自民クラブ

井上 浩 二議員



（一般質問）  
1 新型コロナウイルスワクチンの接種について

ワクチン接種の課題

対応状況は？

問

ウェブ予約に不得手な高齢者のために、総合支所や公民館へ予防接種予約サポートセンターを設置してはどうか。

また、ウェブ予約では、1回目と2回目の接種を同時に予約できないことから、改善すべきだと考えるが認識はどうか。

加えて、予約のキャンセルがあった場合の余剰ワクチンへの対応はどうか。

答

予約については、ウェブ予約を推奨しており、市職員に加え、健幸アンバサダーにもサポートを依頼している。現在、予防接種予約サポートセンターを設置する考えはないが、窓口予約が可能な医療機関もあるため、利用をお願いしたい。

2回目の接種予約が同時にできない状況については、運営会社からシステムの改修を検討しているとの回答を得ている。また、一部医療機関では、受付事務体制の関係から同時予約ができない場合もあるが、接種枠は確保されているため、落ち着いて予約をしていただきたい。

急なキャンセルが出た場合については、医療機関ごとにキャンセルリストを作成して対応しており、当該医療機関での予約繰り上げなどを行い、貴重なワクチンを無駄にしないよう取り組んでいる。

問

感染症から命を守るためには、多くの市民がワクチン接種を行い、集団免疫が得られやすい環境が必要だと思いが、認識はどうか。

また、接種後の副反応には、どのように対応するのか。更に、予防接種の期限が9月末となっているが、10月以降、接種ができなくなるのか併せて、現在、国が接種対象年齢を12歳以上に引き下げの方針を打ち出しているが、今後の対応はどうか。

答

厚生労働省によると、ワクチン接種による集団免疫の効果は現時点で不明だが、本市としては、安心して接種できる環境づくりに努め、我が国が集団免疫の効果を得られることに期待したい。副反応に関し、症状が重い

場合などは、医師の判断により、必要に応じて2次救急病院へつなげる体制を医師会の協力により準備している。

接種期限については、現在、国が示す財政支援計画に基づき9月末までとなっているが、予防接種法に基づく期間は令和4年2月28日までであることから、10月以降も継続されるものと考えている。

接種年齢の引き下げについては、国から指示がなされたところであり、まずは65歳以上の接種完了に注力し、その後の基礎疾患のあるかたや64歳以下の接種と併せ、対応を検討したいと考えている。



集団接種会場での受付